

令和 5 年度 重点取組事項の実施報告

1. 令和5年度の重点取組事項の実施報告

○平成新山溶岩ドーム崩壊に備えた対策について

溶岩ドーム崩壊時の避難のあり方について、2度の専門部会で協議。
令和6年度で、引き続いて協議する。

○眉山崩壊に備えた対策について

部会では、眉山崩壊の可能性について、2度の専門部会で、学識経験者から意見を聴取。
令和6年度でも、引き続き、学識経験者、専門家の意見をふまえながら検討継続。

○雲仙温泉街付近における火山現象の防災対策について

これまでの協議に基づく、必要な防災対策の実施状況等を、部会の機関において、
情報共有するとともに、今後の取り組みを検討。

○退避壕整備について

あらためて、整備方法、整備費用、財政措置、他県の状況などを調査し、部会員で共有。
また、登山者等に対する緊急時の情報伝達について協議。
令和6年度でも、引き続き整備等に向けて協議を進める。

2. 令和5年度の取組状況

第1回幹事会

●令和5年4月24日 島原市役所での対面会議及びWEB会議

参加機関：雲仙岳火山防災協議会幹事会員

1. 雲仙岳の火山活動状況について
2. 令和4年度までの取組状況について

島原半島防災担当者による火山防災ワークショップ

●令和5年5月11日 座学及び現地調査

主催：県防災企画課、雲仙砂防管理センター、長崎地方気象台

参加機関：島原市、南島原市、雲仙市、島原振興局、県砂防課、県自然環境課、長崎
森林管理署

1. 溶岩ドームの現状と観測
2. 気象庁の地震業務について
3. 気象庁の火山業務について
4. 防災ヘリコプター「はるかぜ号」による平成新山の現地調査

第1回溶岩ドーム崩壊・眉山崩壊対応専門部会

●令和5年7月21日 雲仙砂防管理センターでの対面会議及びWEB会議

参加機関：溶岩ドーム崩壊・眉山崩壊対応専門部会員

1. 溶岩ドームの現状と観測
2. 第2回溶岩ドーム崩壊対応専門部会での協議事項について
3. 雲仙・眉山の噴火史—その形成と崩壊の歴史—（鹿児島大学 小林先生）

雲仙岳大規模土砂災害合同防災訓練

●令和5年11月21日 雲仙砂防管理センターで開催

参加機関：雲仙砂防管理センター、県防災企画課、県砂防課、島原振興局
長崎県警察本部、島原警察署、南島原警察署
島原市、雲仙市、南島原市/深江支所、島原広域消防本部
安中地区自主防災会、深江地区自治会、FMしまばら

訓練概要：溶岩ドームの一部崩壊、避難、溶岩ドームの動きが落ち着くまでの状況を想定した図上訓練

第2回溶岩ドーム崩壊・眉山崩壊対応専門部会

●令和5年12月25日 雲仙砂防管理センターでの対面会議及びWEB会議

参加機関：溶岩ドーム崩壊・眉山崩壊対応専門部会員

1. 溶岩ドーム・眉山崩壊懸念への対応（佐賀大学岩尾先生）
2. 溶岩ドーム崩壊に関する協議について

第1回雲仙岳温泉街火山現象対応専門部会

●令和6年1月31日 WEB会議

参加機関：雲仙岳温泉街火山現象対応専門部会員

1. これまでの経緯について
2. 木道と湯けむり橋の注意喚起の状況報告
3. 国道57号の地下空洞調査の結果報告、その他検討結果の報告
4. その他

第1回退避壕整備計画専門部会

●令和6年1月31日 WEB会議

参加機関：退避壕整備計画専門部会員

1. これまでの取組状況
2. 今後の検討事項について
 - (1) 退避壕の整備について
 - (2) 登山者等に対する緊急時の情報伝達について

溶岩ドーム崩壊危険度判定分科会

●令和6年2月14日 島原市有明総合文化会館での対面会議及びWEB会議

参加機関：溶岩ドーム崩壊危険度判定分科会員

1. 雲仙岳の火山活動状況
2. 令和5年度の溶岩ドーム観測結果について

※第2回幹事会と合同会議

第2回幹事会

●令和6年2月14日 島原市有明総合文化会館での対面会議及びWEB会議

参加機関：幹事会員

1. 雲仙岳火山防災協議会令和5年度重点取組事項の実施状況

- (1) 平成新山溶岩ドーム崩壊に備えた対策について
- (2) 眉山崩壊に備えた対策について
- (3) 雲仙温泉街付近における火山現象による防災対策について
- (4) 退避壕整備計画の検討について

2. 協議会の議題について

※溶岩ドーム崩壊危険度判定分科会と合同会議